

令和6年度 授業改善推進プラン4年（課題分析と授業改善策）

	課題分析	授業改善策	評価
国語	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の考えとそれを支える理由を明確にして文章を書くことを苦手とする児童が多い。 ②自分の考えを表現することへの苦手意識を小さくしたり、意欲が高まったりする支援をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①読書の時間を確保し、文章の書き方についての知識を広げていく。 ②単元のまとめで自分の考えを表現する時間を設定する。穴埋め・キーワード使用など段階を設ける。良い見本を提示する。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ①東京都を中心とした学習対象に対して知識は少なく、社会生活に対して関心が薄い児童が見られるので支援していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①東京都の様子、水やごみ、災害、伝統文化、歴史などについて、見学や体験的な学習を活用して実体験から考えさせると共に問題解決的に学習を進め、社会の学習が実生活に関わりがあることを意識させていく。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ①文章題における立式の仕方や、文章題の意味の理解に課題のある児童が多く見られるので支援していく必要がある。 ②計算の仕方が定着していない実態が見られるので、支援していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①問題を正確に理解して筋道を立てさせるため、図や表、数直線など活用できるツールを積極的に取り上げる。 ②朝学習の時間や算数の初めの5分程度の時間を活用して、まなびポケットなどのICTや、プリントを使って、既習内容の計算練習を繰り返し行う。その際に、途中の計算等を書くことを意識させていく。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ①学習意欲や興味・関心は高い傾向にあるが、理科の学習が日々の生活に生かそうという意識は低いので支援していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①理科を学ぶことの意義や有用性について、授業の中で触れる機会をつくるなど、生活との関連を意識させる授業を行い、改善を図る。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ①周りの音と自分の音を聴きながら歌ったり演奏したりできるが、さらに楽曲に対して思いや意図をもって表現に繋がるとよい。 ②音楽を形づくっている要素を聴き取ること慣れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ①音楽を形づくっている要素を理解したうえで、楽曲のもつ背景を知ったり想像したり話し合ったりする活動を増やす。 ②音楽の成り立ちを理解できる様々な要素を持つ短めの曲を聴かせて言語化する活動を増やす。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ①活動の流れを理解し、友達と協力し取り組むことができるが、一人で活動を進めることに自信がない児童が多い。 ②発想を深めずにすぐに仕上げようとする児童と、時間がかかってしまう児童もいて、進捗や内容に差が出てしまうことへの支援の必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①全体で活動の流れを共有し、可視化して一人でも迷わず進められるようにする。 ②活動の途中でも、全体でそれぞれの活動やアイデアの良さや面白さを共有するなどして、視野を広げたり、方向性を見つけたりできるようにする。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ①運動に取り組む目的、ねらいを理解して活動できている児童が少ないので支援していく必要がある。 ②運動に対して苦手意識の強い児童がいるので支援していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各運動領域において、特性や目的を意識して活動させるために、めあての確認を確実にし、学習の最後にはめあてに対する振り返りを学習カードに記録させる。 ②児童同士の教え合い活動、個人の技能に応じたスモールステップの指導、場や教具の工夫、ICTを活用した動きの撮影等の手立てを児童の実態に応じて設定していく。 	
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ①外国語活動の学習の必要性は感じているが、進んで表現することに消極的な児童への支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ①英語表現での交流を積極的に行い、外国語でコミュニケーションをとる楽しさを感じさせる。言葉や身体表現も使ってチャンツやゲームをしながら、英語表現に慣れさせると共にペア学習を取り入れ、失敗を恐れずに表現できるような支援をする。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の考えを積極的に発言できる児童で、授業が進んでしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ペアやグループでの話し合いの場を設けることで、自分の考えを発信する機会を作る。 	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ①調べたことをまとめる際に、ICT機器を使うことにより、個人差が大きくなってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ①全体で使える機能等を指導していく。他教科でもICT機器を使う機会を多く設定する。 	
ICT端末の活用	<ul style="list-style-type: none"> ①キーボードによる文字の入力速度の個人差が大きい。普段の授業（調べ学習や学習のまとめ）にクロムブックを使うことで、文字を書く機会を増やしていく。（主な教科） ②まなびポケットなどの学習ツールを使い、学習の習熟を図る。 		

